

主な出来事

【内政】

- 国民議会の解散及び内閣総辞職
- CGEによる宣誓式
- 内閣改造

【外政】

- トーゴ大統領によるガボン訪問

【経済】

- ガボン・FAO協力:45万米ドル
- IMF報告:2018年ガボン経済成長率3.4%
- 第4回イスラム開発銀行フォーラムの開催

【内政】

1 国民議会の解散及び内閣総辞職

4月30日夕、ンボランツオ憲法裁判所長官は同日をもって国民議会議員の任期が終了する旨発表し、内閣に辞職を命じた。同長官の発表によれば、国民議会は解散しその権限は上院が兼ねる。（2日付UN，1日付GA）

2 H&M代表による政府批判

バロ・シャンブリエH&M（相続性と近代）代表は、ボンゴ大統領によって始められた県開発イニシアティブ基金（FID）について、次期総選挙に向けた見せかけの施策だとして、政府を批判した。（2日付GA）

3 CGE設立

2日、憲法裁判所長官は、与野党関係者臨席のもと、ガボン選挙センター（CGE）員らによる宣誓式を開催した。同日、内務相はかつての選管委員長であるクンバ氏をCGE長に任命した。（3日付UN，2日付GA）

4 内閣改造

内閣辞職を受け、3日、ボンゴ大統領はイソゼ・ンゴンデ首相を再度首相に任命した。また、4日夕、内閣改造が発表され、首相を含む41名の大臣が入閣した。住宅大臣、高等教育大臣、商業大臣に野党関係者が就任した。（7日付UN）

5 新内閣による宣誓式

7日、ボンゴ大統領は新内閣を招集し宣誓式を開催した。宣誓式にて、新内閣の主要課題として、総選挙の実施、経済再建計画（PRE）の継続等が掲げられた。（7日付UN）

6 内務相による選挙改革法案の提出

政治対話の勧告に基づき、内務相は総選挙改革等に係る4法案を上院法律行政委員会に対

して提出した。(16日付UN)

## 7 PGPによる政府批判

23日、ガボン進歩党(PGP)幹事長逝去28年を記念して、PGP代表は2016年の大統領選挙における与党の不正を指摘した。また、CGEの構成員がボンゴ大統領及び与党PDG寄りであり、透明性の選挙を確保することはできないとして政府を批判した。(24日付GR)

## 【外政】

### 1 ボンゴ大統領によるイスラム開発銀行総裁との会談

9日、ボンゴ大統領は、ハジャール・イスラム開発銀行(IDB)総裁と会談し、ガボンの経済多角化に向けた協力のほか、インフラ、エネルギー、農業といったPREの優先分野への投資について協議した。(9日付UN)

### 2 トーゴ大統領によるガボン訪問

24日、ニヤシンベ・トーゴ大統領はガボンを訪問し、ボンゴ大統領との間でECOWAS・ECCAS協力の強化、同地域の安全強化について話合ったほか、ギニア湾海賊問題についても協議した。(25日付UN)

## 【経済】

### 1 ガボン・FAO協力:45万米ドル

FAO、農業省の協力強化の枠組みにて、FAO代表は、今後4年間の45万米ドルに亘る農業分野での技術協力の実施を発表した。(3日付UN)

### 2 IMF報告:2018年ガボン経済成長率3.4%

IMFサブサハラ・アフリカ経済予測報告書によると、2018年のガボン経済成長率は前年の2.8%から3.4%に微増した。また、IMFはガボン政府に対して、構造改革、消費税改革の推進、民間セクターからの投資強化の必要性を訴えた。(9日付GM)

### 3 副大統領による中国建設代表らとの面談

10日、マガンガ・ムサブ副大統領は中国建設代表らと会談し、オイエム及びムイラの大学建設計画について意見交換を行ったほか、リーブルビルの体育館、ガボン南部の道路網建設の完工について協議した。(11日付UN)

### 4 第4回IDBフォーラムの開催

9日、イソゼ・ンゴンデ首相は第4回IDBフォーラムを開催し、開発及び投資の増大に向けたガボン政府、IDBの協働について意見交換を行った。(11日付UN)

### 5 トタルガボンによる2018年第1四半期の決算発表

トタルガボンの2018年第1四半期決算は、石油販売価格の上昇により前年度比27%増の2億800万ドルを記録した。(16日付UN)

### 6 カナダ企業連合と鉱山大臣との面談

カナダ企業連合は、マニヤニヤ鉱山大臣と面談し、鉱石加工に係るエンジニアの研修及び加

Socagef 社及び赤道鉱業会社との共同採掘を中心とした鉱業分野における両国の連携について協議した。(16日付GR)

#### **7 副大統領による南ア African Union Communication 社との面談**

16日、マングア・ムサブ副大統領は、南アの通信会社 African Union Communication 社と面談し、デジタル通信技術、ガボンのテレビ業界の活性化に向けた事業提案について協議した。同社は、デジタル信号を国土全域に配信するガボン法人の設立を提案した。(18日付UN)

#### **8 経済成長加速化に向けたタスクフォースの開催**

17日、ボンゴ大統領の指示のもと、財政タスクフォースが開催された。同タスクフォースにて、財政健全化、経済危機からの脱出に向けた重要課題として、予算計上の再検討、人件費の効率化、公務員の給料削減、債務レビュー、投資の効率化、租税法改正等が掲げられた。(18日付UN)

#### **9 印 L7H Life Resources 社による養鶏事業**

印 L7H Life Resources 社は、2億ユーロに上る養鶏事業をガボンにて行う旨発表した。(22日付GM)

#### **10 副大統領による中国 Electric Power and Technology 社との面談**

23日、ボンゴ大統領は中国 Electric Power and Technology の副代表他と面談し、エネルギー分野における協力について意見交換を行った。(24日付UN)

#### **11 中国 CMOC 社によるマブミンヌ鉱床採掘再開**

中国の鉱業会社 CMOC 副社長は、ガボン政府と会談しマブミンヌ鉱床の採掘再開について協議した。同社は仏エラメット社と共同で作成した鉱床採掘再開に係る評価報告書をガボン鉱業関係者に提出した。マブミンヌ・プロジェクトは、世界有数の多金属鉱床であるマブニエ(Mabounie)鉱床(モワイヤン・オグエ州ランバレネ近郊)を開発するプロジェクトで、仏エラメット社が主導していた。(24日付NG)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP 紙),EN(エコー・ノール紙)